黎明インターンシップ通信 No.10

~インターンシップ最終日~

平成 28 年 7 月 1 日



カジュアルレストランエスポアで体験中の 104・吉田健一朗君。朝から掃除を頑張る様子 が。他にも店内の掃除から接客、料理を運ばせ ていただきました。本人は「大変ですよー。立 ち仕事で疲れるし、忙しくて料理も運び間違え たし。俺だけ1人でみんな大勢でワイワイやっ てるんじゃないですか?」とお疲れ気味。昨日 は早目に体験は終了して帰宅しているものの、 仕事の厳しさ、身をもって体験できたようで す。担当者様からは、「挨拶や声出しは出来て いますが、男の子だし1人だし仕方ないです よ。でもコミュニケーションの重要性は伝えた つもりです。」と。実際にお客様にお水を出し ていましたが、しっかり声を出して接客できて いました。1人だったからこそ、全て自分で考 え、自分で行動できた吉田君はすごいですよ!



ソクラテスミーティングにも来てくださった、 元気づくりジムにお世話になっているのが、 104・村上昴大君。インターンシップでの3日 間の目標は「100人と会話すること」。最終日の 今朝の段階で 92 名までインタビュー完了。毎 日80~100人のお客様がくる中で、自ら積極的 に挨拶し、自分のことを話し、利用者の方に目 的やどのくらい通っているのかも含め、世間話 が出来ている村上君の笑顔はピカイチでした。 怪我をしてこられる方が多いので明るく話し かけ、やる気にさせることが大事と語ってくれ た村上君は、利用者様の話を一生懸命に聞き、 朗らかに接する姿が見受けられました。代表の 酒井さんは、「100 人もの方と話が出来たこと は、彼にとって大変な自信になると思いま す!」と胸の内を語ってくれました。最終日の 目標は「利用している人のサポートまでした い」と意気込み十分。最後まで頑張って!

インターンシップもとうとう最終日。既に終えている生徒は学校で振り返りと感想文作成、最終日の生徒は真剣なまなざしで体験する姿が見られました。みんな、とってもカッコイイです!





探究基礎の流れ

キックオフミーティング

コミュニケーション講座

ソクラテスミーティング

感想交流

インターンシップ希望調査

エントリーシート

マナー講座

★インターンシップ

お礼状作成

報告会

103・岡村涼平君と 104・永田大和君は、ニューハトピア温泉 天然温泉ホテル長島で客室掃除の体験中。もともと腰が悪い岡村君は小声で「キツイっす。腰痛いっす。」と大変さをアピール。永田君は客室の掃除機を軽々とかけ、「楽しいですよ。全然大変じゃないです!」と大張り切り。社員様からは、「頼もしいですよ~。布団なんて 3~4 組軽々と持ち上げて運んでくれて、とても助かってます。すぐにでも来て欲しいぐらい♪」とお褒めの言葉も。挨拶や返事は出来ているものの、日報などの資料を書かずに家に持って帰ろうとするなど、私たちの説明不足も感じました。



キラキラ女子にふさわしい、レストランウェディング「イーオリエンタルバンケット」で体験しているのは、103・井本 希良莉さん、植野李奏さん、105・栗山リンダさん。この3日間、ウェディングの引出物の準備や掃除、店内の準備など をお手伝いさせてもらいました。栗山さんは、「大変ですが、めちゃ楽しいです」と汗だくの中、良い笑顔。井本さんは 「招待状をこの3日間で1000枚ぐらい折りましたよー、めちゃ疲れる・・。でも、お昼がめっちゃ美味しい、ほんと美味しい!」と植野さんと口を揃えて教えてくれました。植野さんは「もっとウェディングの華やかな場面を見られると思っていました。言葉遣いや姿勢について厳しく教えてもらえました。」とイメージが違ったことを教えてくれました。華 やかなイメージが強いウェディングやレストランですが、裏での地道な準備があってこその幸せを届ける仕事なのです。厳しい社会の一面が分かって良かったです!







今年度の受入事業所の中で唯一4日間だった、NPO法人マザーキッチン。103・佐藤君は配達に行った時、挨拶を返してくれると、とても嬉しかったとか。調理場で包丁を持つ作業が大変だったとコメントしてくれたのは、103・内藤君。発泡スチロールの保冷箱の山に囲まれながら、黙々と消毒作業を続ける、103・高木君。嫌な顔を少しも見せないところが3人の素晴らしいところでした。







今年の弥富建設は、104・山下君、小田君、野田君、打田君といずれも野球部の4名。コンクリートを流し込む作業体験では、完成物を並べてみると、皆の出来栄えの違いが良くわかります。インターンシップ期間中、比較的良くできたと感じたのは、足場を組む作業だったそうです。皆で息の合った作業ができたのがポイントのようです。

初日から3日間のインターンシップを終えた多くの生徒達は、4日目は学校に戻り感想文の課題に取り組んでいました。スポーツデポに行った、103・ 松林君は、集中して一気に書き上げていました。